

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 2年 3月 10日

事業所名 あそび王国青江事業所 保護者等数(児童数) 36 回収数23 割合63%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	5		3	・室内でできることを工夫してくれている。 ・活動によっては狭いのではないかと感じる。	限られたスペースですが、安全に活動を楽しむことができるように、今後も内容の工夫に努めていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15			8		研修等により、専門性の向上に努めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	2		4	絵などで分かりやすく表示している。	必要に応じて変化させながら支援がしやすく、安全に十分配慮した環境づくりをしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	3		3	・トイレが少し暗いように感じる。 ・外靴と上履きを履き替えるスペースに区切りがない。	清掃や消毒等を徹底しながら、より楽しく分かりやすい環境を整えるよう努めています。
適切な 支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	23					保護者のニーズを聞きながら一緒に支援計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	2		5	現状にあった計画やサポートがなされている。	発達状況やご家族の意向に適した支援計画を立案することができるよう、引き続き寄り添った支援に努めていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	1		2	苦手なことやできなかったことが少しずつできるようになって成長していると感じる。	一人ひとりにあわせた支援を行っています。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	20	1		2	・様々な遊びや体操などを考えてくれている。 ・レベルに応じて変化がある。	今後も活動プログラムが固定化しないように工夫しながら支援を行っていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		5	16		交流の機会を検討していきます。
保護者への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1				今後も分かりやすい説明ができるように努めます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23					ガイドラインに基づき適切に設定しています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	8	4	3	8	・親身になって相談を聞いてもらえる。 ・日々の相談などができるのは良いが、もっと面談の機会が増えると良い。	今後もご家族に寄り添った話し合いや説明ができるように努めていきます。

	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20	3				その都度、様子を伝えあえる環境作りをしています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	4	4	2		定期的な面談の機会を増やすように努めています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	13	9		保護者同士の関わりは送迎時のみである。保護者同士が交流できる機会を検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	1		1		困ったことがあると個別に対応してくれるので助かる。今後も迅速な対応をすることができるよう、スタッフ間での情報共有などに努めています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	2				SNSなども活用しながら、迅速に情報伝達をすることができるようになっています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	2	3	6	日々の活動記録が写真付きで分かりやすい。	活動記録やホームページなどで発信するようにしています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20	1	1	1		今後も個人情報の取り扱いに十分注意しながら業務にあたるよう努めています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15	1	1	6		様々な緊急時に、保護者が迅速に対応できるように分かりやすくマニュアルを示すことができるよう努めています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1	1	12	避難場所や引き渡しについての訓練があった方が良い。	定期的に避難訓練を行っていますが、引き渡し訓練についても検討していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18	4		1	・今日は何の活動をするか、誰がいるかなど期待している。 ・楽しかったと嬉しそうに帰ってくる。	子どもたちの心に寄り添いながら支援していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	23				・様子を細かく教えてくれるので安心できる。 ・できることが少しずつ増えてきたことを実感している。	

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。